

船舶事故調査報告書

平成21年9月17日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘
委員 楠 木 行 雄
委員 横 山 鐵 男（部会長）
委員 山 本 哲 也
委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年5月4日 05時00分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（本船発見場所は、沖縄県久米島町仲里港北防波堤灯台から真方位191°6,800m付近（概位 北緯26°17.5′ 東経126°48.8′）であった。）
事故調査の経過	平成21年5月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第一 ^{みなとがわ} 港川丸、1.57トン ON3-35660（漁船登録番号）、個人所有 7.90m(Lr)×1.46m×0.62m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数25、昭和51年10月9日
乗組員等に関する情報	船長 男性 73歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和50年11月15日 免許証交付日 平成17年4月25日 (平成23年3月13日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船首船底及び左舷中央に破口
事故の経過	本船は、平成21年5月3日18時30分ごろ、船長1人が乗り組み、いか釣り漁の目的で、久米島町 ^{ぎま} 儀間漁港を出港した。4日05時00分ごろ、仲里港北防波堤灯台から191°6,800m付近で、無人のまま打ち上げられた状態の本船が発見された。6日本船発見場所の南約200mの沖で救命胴衣を着用していない船長の遺体が発見された。 後日、死亡推定時刻は4日00時00分ごろであり、死因は溺水と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東南東、風速 約2.0m/s 海象：波高 約2m、水温 約23℃
その他の事項	本船発見時、錨索が全量延出された状態で、錨索の切れ端がプロペラ及び舵に絡んでおり、操作レバーが前進状態で停止していた。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし 不明 死因は溺水であった。 船長は、救命胴衣を着用せずにプロペラ及び舵に絡んだ錨索を外す作業中、誤って落水した可能性があると考えられるが、船長が落水した状況については、明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船に乗り組んでいた船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	